

7. 2. 医師教育関連資料

7.2.1 医学教育モデル・コア・カリキュラム(抜粋) —教育ガイドライン—

○医学生が卒業までに学んでおくべき態度、技能、知識に関する教育内容を精選して編成したもの。

F 医学・医療と社会

(6)臨床研究と医療

一般目標:

医療の発展における臨床研究の重要性について学ぶ。

到達目標:

- 1) 副作用報告と有害事象報告の意義を説明できる。
- 2) 臨床研究、臨床試験、治験と市販後臨床試験の違いを概説できる。
- 3) 研究目的での診療行為に要求される倫理性を説明できる。
- 4) 研究デザイン(二重盲検法、ランダム化比較試験、非ランダム化比較試験、観察研究、ケース・コントロール研究、コホート研究、メタ分析)を概説できる。
- 5) 診療ガイドラインの種類と使用上の注意を列挙できる。
- 6) 薬物に関する法令と医薬品の適正使用に関する事項を列挙できる。

(出典:「21世紀における医学・歯学教育の改善方策について」
～医学・歯学教育の在り方に関する調査研究協力者会議 報告～)

7.2.2 国家試験出題基準(抜粋)

★必修の基本的事項

2. 社会と医療(約2%)
 - A. ～C. 略
 - D. 臨床試験・治験と倫理性
 - ①第I・II・III・IV相試験
 - ②ヘルシンキ宣言
 - ③GCP(医薬品の臨床試験実施の基準)
 - ④IRB(施設内倫理委員会)
9. 臨床判断の基本
 - A 根拠に基づいた医療<EBM>
 - ①患者の問題の定式化
 - ②情報収集法
 - ③批判的吟味
 - ④患者への適用
 - ⑤研究デザイン
 - ⑥メタ分析(メタアナリシス)

⑦ 診療ガイドライン

- B 臨床疫学的指標 以下略
- C 誤差と精度 以下略
- D 基準値 以下略
- E 有効性と効率性 以下略

★ 医学総論

II-3 疫学とその応用

- B 疫学指標
 - ①率と比
 - ⑤相対危険度<relative risk>、寄与危険度<attributable risk>
 - ⑥オッズ比
- D 分析疫学
 - ①コホート研究
 - ②患者対象研究
 - ③介入研究
 - ④無作為比較対照試験<RCT>
 - ⑤メタ分析<メタアナリシス>

IX-2 薬物療法

- B 薬物動態
 - ① 吸収、分布、代謝、排泄
 - ②一回投与、反復投与
 - ③治療薬物モニタリング (TDM)
 - ④遺伝子型
 - ⑤民族的要因
- C 薬効
 - ①薬効を左右する因子
 - ②薬物の相互作用
 - ③食物・嗜好品との相互作用
 - ④薬効の評価、偽薬効果
 - ⑤適応と禁忌
- D 用法・用量
 - ①投与経路と種類の特徴
 - ②剤型
 - ③コンプライアンス
 - ④新生児、小児、妊婦、高齢者
 - ⑤肝機能障害
- E 副作用
 - ①種類
 - ②機序
 - ③対策

(出典：厚生労働省)